

失敗を 恐れない勇気

校長 高保裕樹

今年の学園祭は、巨摩高初の一般公開でした。新たな挑戦だったのです。「産みの苦しみ」と言いますが、何事も新しいことを始めるのは簡単な事ではありません。当日を迎えるまでには紆余曲折がありました。その中心で頑張った生徒会本部は大変だったと思いますが、大きな成果を収めることができました。

「成功した人は、人一倍失敗もしている。人のまねをせず、失敗を恐れずチャレンジしてほしい。」これは、本県出身者として初のノーベル賞を受賞された大村智先生の言葉です。

何事も、挑戦しなければ失敗もしなくてすむかもしれませんが、ドラマの中では、難しいことに次々に挑戦し、「私失敗しないので。」と言っているキャラクターもいますが、実際にはそれほどうまく事は運びません。失敗に挫折せず、挑戦し続けた人が、成功を手に入れます。言い換えれば、失敗を恐れず、一歩を踏み出す勇気を持つものだけが、成功を手に入れられるということでしょう。

We realized how important it was to keep on trying and not give up.



今ある仕事の六十五パーセントは、将来違う仕事に変わると言われる激動の時代を迎えました。この時代を生き抜いていく皆さんには、新しいことに挑戦する勇気と方法をも身につけることが求められています。巨摩高校は、個人も学校も、常に新たな挑戦を目指しています。学園祭の一般公開同様、これからも、皆で考え、覚悟を共有したうえで新たな一歩を踏み出していきます。そんな経験が、人を、学校を、成長させるに違いありません。そう信じています。



平成27年度 第6回 白嶺祭

盛瞬 せいしゆん



巨摩高維新元年にあたって

私は生徒会長に任命されてから、この一年を、巨摩高校をよりよい学校にするために「巨摩高維新元年」と思いながら、様々な活動を行ってきた。特に力を入れたのは学園祭である。今回の学園祭では、従来のクラスパフォーマンス、クラス企画に加え、男装女装コンテストやカラオケ大会、屋台、さらに一般公開など新しい試みを行った。その結果、高い評価を頂けたと思う。

巨摩高校と聞くと、伝統校というイメージを持つ人が多いと思う。しかし、巨摩高校は伝統を大事にしなが、新しいことに挑戦できる学校だと言える。私はこの一年でそれを実感した。

最後に一年間応援していただきありがとうございました。

前生徒会長 三年
河野将磨(楡形中出身)



山梨から科学の面白さを発信!!

SSH スーパーサイエンスハイスクール



SSH全国大会に参加して

三年 秋葉天菜(増穂中出身)

私は八月に開催されたSSH全国大会に参加し、そこで「ビタミンCの科学」という内容の研究発表を行いました。全国の生徒や先生方に工夫を凝らした精一杯の発表が出来たと思います。また海外の方に英語の発表を行うことも出来ました。この全国大会は科学により興味をわく素晴らしい場だと感じました。

私達の発表は賞を取ることが出来ませんでした。一二年生の皆さんはぜひ全国大会出場ではなく、全国大会入賞を目指して頑張ってください。

下田研修に参加して

一年 石川 梓(増穂中出身)

私達は夏休みを利用して、一泊二日の下田研修に参加しました。下田研修では、実際にウニの人工授精実験と発生観察や、プランクトンの授業を行いました。ウニの人工授精では、人工的に受精させ、ウニの発生過程を見ることが出来ました。プランクトンの授業では、船に乗りプランクトン採取してきて、自分たちでどんな種類なのかを調べることが出来ました。とても貴重な経験をすることができ、海洋生態系や海洋生物に関する認識を深めることができました。また集団行動を通して、強調・協力の精神を養うこともでき、意味のある研修になったと思います。

筑波研修に参加して

一年 山田優香(八田中出身)

私は筑波研修で貴重な体験や話を聞くことができ、日本の最先端科学技術の素晴らしさをたくさん学ぶことができました。理化学研究所筑波研究所で、私達人間の難病を治す「命を救う」ためのスケールの大きい工夫をされた研究開発を知り、その凄さにも驚かされました。他にも宇宙開発や生命環境などの様々な分野から学ぶので、進路選択の一つのきっかけにもなると思います。またこの研修では、参加した仲間との協調性を養うことができる良い機会にもなりました。是非このような日本の素晴らしい科学技術を皆さんにも実際に研修に参加して実感してもらいたいです。

家庭クラブ全国大会に参加して

三年 深澤愛意(楡形中出身)

私は七月三十一日、札幌市教育文化会館で行われた家庭クラブ研究発表大会に参加し、関東ブロック代表として「自家製天然酵母でヘルシーライフ」の発表を行いました。地元の果物から酵母を起こし、発酵させた際に生成される炭酸ガスを使いパンを焼く過程や、酵母液の料理への応用などの取り組みを発表しました。

友人に協力してもらいパワーポイントの画面を使いながら十五分の発表で、「家庭部会長賞」をいただきました。緊張しましたが、日本伝統の発酵食品や酵母のことなどを多くの人に分かりやすく伝えたいと思います。

平成27年度 インターハイ

雨宮 巧君 (3年) 砲丸投 インターハイ 6位入賞!! JOCジュニアオリンピックカップ4位入賞!!



7月28日～8月20日、近畿地方を舞台に全国高等学校総合体育大会が開かれました。本校からは団体が女子ホッケー部、個人で陸上部、弓道部から3名が参加し、熱戦を展開しました。



●陸上部 三年 雨宮 巧(楡形中出身)

昨年、私はインターハイに初めて出場し、力を発揮することができずに悔しい思いをしました。自分のいない決勝で全国の頂点を争う選手達を見て、来年は自分もこういう勝負がしたいという思いを強く抱き、練習を重ねました。そうして臨んだ今年のインターハイでは、満足のいく結果を残せませんでした。が、入賞という最低限の目標は果たされたので、昨年の自分よりいくらか成長できたのではないかと感じています。また、十月の日本ジュニアでは、インターハイの借りは返したので、気持ちを切りかえ、これからは受験勉強に力を入れられると同時に、来シーズンに向けて準備を進めていきたいと考えています。

●陸上部 三年 澤登大河(若草中出身)

私は今年度、インターハイと団体という全国大会に陸上競技の四〇メートルハードルで出場しました。どちらも出場だけに終わってしまい、とても悔しい思いをしました。しかし、巨摩高校の皆さんの応援があったのでここまで頑張れることができたと思います。巨摩高校は部活動をするのにも恵まれた環境でした。感謝しています。

●ホッケー部 三年 矢崎莉子(白根御勅使中出身)

インターハイという大きな舞台でプレーできたこと、そこで初戦突破できたこと、とても貴重な経験になりました。また、仲間の大切さやチームプレーの難しさを改めて感じました。そして、私達を支えてくれた多くの方々への感謝の気持ち忘れずに、これからも夢の実現に向けて努力していきたいです。

●弓道部 三年 折居優次(白根御勅使中出身)

私は県の第二代表として全国大会に出場しました。結果は予選敗退でしたが、貴重な経験ができたと思っています。高校から弓道を始めた私がかつて来られたのは、厳しくも優しい先生や先輩、上手な同級生、優秀な後輩に恵まれたからだと思っています。巨摩高弓道部に入って本当に良かったと思っています。